

令和3年度
事業報告及び決算報告書



公益財団法人千葉県下水道公社

目 次

公益財団法人千葉県下水道公社の概要	1
令和3年度事業報告	
I 事業概要	2
II 事業別概要	3
公益目的事業	
1. 普及啓発事業	3
2. 管理事業	5
3. 建設事業	7
III 庶 務	
評議員会及び理事会の開催状況	8
役職員の状況	
役員一覧表	10
評議員一覧表	10
職員の状況	11
組 織 図	11
令和3年度決算報告	
貸借対照表	12
正味財産増減計算書	13
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	20
附属明細書	22
財産目録	23

事業報告書

公益財団法人千葉県下水道公社の概要

下水道は市街地の雨水排除及び生活排水などの汚水処理により都市の生活環境を改善し、河川・湖沼等の水質を保全するために不可欠な施設です。しかしながら、下水道事業着手済の市町村では下水道施設の建設及び維持管理に要する経費の節減並びに技術職員の安定確保、また新たに下水道事業を着手する市町村では財政負担及び技術者の確保等が課題となっています。

このような状況から公益財団法人千葉県下水道公社は、下水道知識の普及啓発、下水道技術者の養成を行い、併せて下水道施設の管理、下水道事業に係る計画設計・建設工事の受託並びに財政援助を積極的に行い、千葉県下水道整備の推進を図ることで、県民の生活環境の改善と河川、湖沼等の水質が保全されることを目的として設立されました。

【概要】

- 1 法人の名称 公益財団法人 千葉県下水道公社
- 2 設立年月日 平成4年3月25日
(平成25年4月1日 公益財団法人として名称変更及び移行登記)
- 3 事業所及び所在地 本 社
総務部総務課 ・ 施設管理部管理課 ・ 建設部建設課
千葉県美浜区磯辺8-24-1

施設管理部
花見川処理場
千葉県美浜区磯辺8-24-1

花見川第二処理場
千葉県美浜区豊砂7

手賀沼処理場
我孫子市相島新田85-5

江戸川第二処理場
市川市福栄4-32-2

江戸川第一処理場
市川市本行徳地先
- 4 役職員及び評議員 P10 参照
- 5 基本財産 3億6千7百万円
(千葉県：2億円 千葉県企業局 3千万円
県内54市町村：1億3千7百万円)
- 6 事業内容 (1)下水道知識の普及啓発
(2)下水道技術の調査・研究
(3)下水道技術者の養成
(4)流域下水道施設の維持管理等及び修繕工事に係る設計・設計積算・施工監理・技術的支援
(5)公共下水道施設の設計・設計積算・施工監理・建設工事・技術的支援

令和3年度事業報告

I 事業概要

当社は、流域下水道の維持管理及び公共下水道に関する業務を行うほか、下水道知識の普及啓発活動、下水道の調査研究及びその成果の活用等を行い、千葉県及び市町村の下水道事業に協力し公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行った。

また、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行し、新たな体制のもと、これまで培った知識や経験を活かし、公益性の高い法人として、より一層の適正かつ効率的な事業運営に役職員が一丸となって努めた。

1 新たな「経営計画（平成3年度～令和7年度）」に基づき、公共用水域の水質保全や循環型社会の構築などに努めるとともに下水道事業を総合的にサポートするために資質の向上に努め、目的達成を目指した。

「経営理念」

- 1 県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、適正な下水処理に努めます。
- 2 社会情勢の変化に対応し、下水道の持つ資源やエネルギーを有効的に活用した循環型社会構築のため、その一翼を担う公社を目指します。
- 3 下水道事業を総合的にサポートする公社として、さらなる技術力向上に努めます。
- 4 職員一人一人が自立・自覚し、効率的な業務執行に努め、健全な公社運営を目指します。

2 「下水道の日」（9月10日）を中心に幹線道路に横断幕を設置し、地元紙へ寄稿するとともに広告を掲載し下水道についてのPRや理解を深めてもらう広報活動を行った。

3 下水道教室を開催し、実際に見て・触れることにより下水道の役割や仕組みを体験してもらう活動を行った。

4 下水道技術の向上を図るため、下水道技術全般に関する調査研究を行った。

5 千葉県や県内市町村の下水道に従事する職員を対象に共通課題や情報交換等を行い、共通認識のもと適正な運転管理が行えるようにした。

6 千葉県から印旛沼、手賀沼、江戸川左岸流域流域下水道及び再生水利用下水道、下水処理水再利用の各施設の維持管理業務に係る履行監視業務等や修繕工事に係る設計積算業務、施工監理業務等を受託し、流入水を適正に処理し、公共用水域の水質保全と循環型社会の構築に寄与した。

7 千葉県及び県内市町村から公共下水道施設に係る設計業務、建設工事、施工監理業務を受託し、計画から整備を行った。

II 事業別概要

【普及啓発事業】

1 下水道の日行事

「下水道の日」（9月10日）に合わせて、下水道に対する県民の理解と関心を深めることを目的に次の諸行事を行った。

- (1) 下水道推進標語入り横断幕を掲出した。（千葉市稲毛区穴川交差点歩道橋他6か所）
- (2) 交通機関での下水道PRポスターを掲示した。（JR線他）
- (3) 県内市町村へ下水道PRポスター及び啓発品（エコスポンジ）を配布した。
- (4) 新聞、フリーペーパー及びラジオでPR広告・放送を行った。（千葉日報・bayfm他）
- (5) 集客施設最寄駅の大型スクリーンでPR広告を行った。（海浜幕張駅前他2か所）
- (6) ホームページにより下水道の仕組みや役割、当公社の事業等などの情報を発信した。

2 処理場見学

例年は年間で約1,000人（手賀沼終末処理場を除く全処理場の合計）を受け入れているが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度も受け入れを中止している。

3 「出張下水道教室」の開催

職員が小学校へ出向き、下水道の仕組みなどを説明するとともに、実際に汚した水をきれいにする実験や微生物を観察する下水道教室を行った。

また、下水道の正しい使い方を説明して、水環境に負担をかけない生活を家族にも取り組んでもらうように説明した。

新型コロナウイルスの感染防止のため、公社職員は検温と消毒を徹底したうえで授業を実施した。また、教卓にはスクリーンを設置し、フェイスシールドを装着した。

令和3年度	学校数	授業数	受講者
	18校	43授業	1,297人
累計	280校	554授業	19,907人

4 広報誌等の作成

- (1) パンフレット「下水道を学ぼう」の発行
- (2) 広報誌「きらら」の発行（55号）

5 下水道技術の調査研究

- (1) 下水道に係る専門図書を収集した。
- (2) 共同研究として次の研究をそれぞれ実施した。

1	テ ー マ	都市下水処理における有機物分解に要求する酸素量とその時間変化の調査に関する研究
	実施目的	下水処理場における有機物除去機構の詳細を明らかにし、現在のエアレーション及び汚泥滞留時間（SRT）などから活性汚泥の性能を技術的に示すことで、合理的な省エネルギー方策への情報提供を目的とする。
	実施期間	平成31年4月～令和4年3月
	実施場所	東京理科大学・江戸川第二終末処理場他
	共同者	千葉県・当公社・学校法人東京理科大学

6 下水道技術者の養成

例年は市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度も開催を中止したが、市町村下水道担当職員を対象にした研修参加に要する費用の一部助成を行った。

7 その他

下水道の仕組みを分かりやすくするための「啓発施設の整備」や県内市町村に対して災害が発生した際に必要な「資機材等の支援」、県内市町村職員に対する「研修参加支援」を特定費用準備資金としてそれぞれ積立てて活用している。

【管理事業】

1 印旛沼流域下水道施設管理受託

千葉県から千葉市、佐倉市他（計13市町）の印旛沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

2 手賀沼流域下水道施設管理受託

千葉県から松戸市、柏市他（計7市）の手賀沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

3 江戸川左岸流域下水道施設管理受託

千葉県から市川市、船橋市他（計8市）の江戸川左岸流域の汚水を処理する流域下水道施設及び江戸川第二終末処理場の覆蓋上部等に建設された「いこいの広場」の維持管理業務（市川市管理部分を除く）及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

4 再生水利用下水道施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を高度処理し、再利用水として幕張新都心の一部地区に供給する再生水利用下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

5 下水処理水再利用施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を幕張新都心地区において地域冷暖房システムの熱源として送水する下水処理水再利用施設の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

6 花見川処理水再利用事業

幕張新都心地区において東京都市サービス㈱が行う地域冷暖房事業の熱源として花見川終末処理場の処理水を千葉県から承認された処理水利用権に基づき供給した。

流域下水道施設の概要

令和4年3月末現在

流域名	印旛沼 流域下水道		手賀沼 流域下水道	江戸川左岸 流域下水道	
終末処理場	花見川 終末処理場	花見川第二 終末処理場	手賀沼 終末処理場	江戸川第二 終末処理場	江戸川第一 終末処理場
供用開始	昭和49年4月	平成6年6月	昭和56年4月	昭和56年4月	令和3年3月
処理面積	18,068.6ha		7,707ha	11,296ha	
処理人口	1,317,292人		626,494人	1,227,762人	
管渠延長	166.4km		88.3km	105.6km	
中継ポンプ場	10か所 ※		1か所	3か所 ※	
流入水量(年間)	96,715,528m ³	61,831,867m ³	84,019,257m ³	136,764,570m ³	8,027,348m ³
同(日平均)	264,974m ³ /日	169,402m ³ /日	230,190m ³ /日	374,697m ³ /日	21,993m ³ /日
処理場面積	約21ha	約24ha	約40ha	約26ha	計画 約30ha
関連市町村	12市1町		7市	8市	
	千葉市、船橋市、成田市、佐倉市 習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市 四街道市、八街市、印西市、白井市 富里市、酒々井町		松戸市、柏市 流山市、我孫子市 鎌ヶ谷市、印西市 白井市	市川市、船橋市 松戸市、野田市 柏市、流山市 鎌ヶ谷市、浦安市	

※ 印旛沼・江戸川左岸連絡幹線のポンプ場2か所は重複している。(本北方ポンプ場・習志野ポンプ場)

施設名	再生水利用下水道施設	下水処理水再利用施設
供用開始	平成元年10月	平成3年10月
供給地域	幕張新都心地区 幕張海浜公園ほか7施設	幕張新都心地区 約48.9ha
供給水量(年間)	154,722m ³	23,461,857m ³
同(日平均)	424m ³	64,279m ³

【建設事業】

1 公共下水道設計業務受託（7 団体）

市川市、茂原市、成田市、佐倉市、八千代市、芝山町、長生村から幹線管渠等の実施設計業務を受託した。

2 公共下水道設計積算業務受託（1 団体）

長生村から公共下水道施設に係る設計積算業務を受託した。

3 公共下水道建設工事受託（12 団体）

市川市、木更津市、茂原市、成田市、佐倉市、八千代市、印西市、白井市、富里市、香取市、芝山町、一宮町から幹線管渠及びポンプ場等の建設工事を受託した。

4 公共下水道施工監理受託（1 団体）

長生村から公共下水道施設の建設工事に係る施工監理を受託した。

Ⅲ 庶 務

評議員会及び理事会の開催状況

令和3年度における評議員会及び理事会の開催状況は次のとおり。

【評議員会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （臨時）	令和3年4月1日	議案第1号	理事の選任について
第2回 （定時）	令和3年6月25日	議案第1号	令和2年度事業報告及び決算報告の承認について
		議案第2号	評議員の任期満了に伴う改選について
		議案第3号	理事の選任について
		報告事項	令和2年度補正収支予算及び令和3年度事業計画及び収支予算について

【理 事 会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （臨時）	令和3年4月1日 （決議の省略）	議案第1号	業務執行理事を選定し、常務理事にすることについて 候補者 理事 岩 岡 良
第2回 （臨時）	令和3年4月16日 （決議の省略）	議案第1号	常勤役員報酬月額の設定について
第3回 （定時）	令和3年5月25日 （決議の省略※）	議案第1号	令和2年度事業報告及び決算報告について
		議案第2号	令和3年度第2回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告について
第4回 （臨時）	令和3年6月25日 （決議の省略）	議案第1号	業務執行理事を選定し、専務理事にすることについて 候補者 理事 伊 勢 田 洋 彰
第5回 （臨時）	令和3年7月8日 （決議の省略）	議案第1号	常勤役員報酬月額の設定について
第6回 （臨時）	令和4年12月16日 （決議の省略）	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社再雇用に関する規程の一部を改正する規程の改定について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額の改定について

第7回 (定時)	令和4年3月28日	議案第1号	令和3年度補正収支予算(第1号)について
		議案第2号	令和4年度事業計画及び収支予算について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社就業規則の一部を改正する規則の改定について
		議案第4号	令和4年度第1回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告について 令和3年度千葉県包括外部監査結果報告について

※コロナウイルスの感染抑制のため決議の省略で対応

役職員の状況

【評議員】

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	備考
評議員	鈴木 徹	鈴木徹税理士事務所代表（国税庁出身）
評議員	太田 三郎	千葉商科大学商経学部名誉教授
評議員	武間 豊夫	元当公社理事長（千葉県出身）
評議員	生田 昌司	前千葉県睦沢町代表監査委員（千葉県出身）

任期：4年（令和3年6月25日から令和8年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【役員】

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	備考	
理事長	保坂 隆		常勤
専務理事	伊勢田 洋彰	（総務部長事務取扱）	常勤
常務理事	岩岡 良		常勤
理事	高橋 伸生	千葉県県土整備部都市整備局長	非常勤
理事	高久 利明	市川市水と緑の部長	非常勤
理事	渡邊 修一	茂原市都市建設部長	非常勤
理事	内田 勝範	柏市上下水道局理事	非常勤
理事	稲村 好聖	八千代市上下水道局長	非常勤
理事	堀越 浩貴	芝山町まちづくり課長	非常勤

任期：2年（令和2年6月12日から令和4年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【監事】

令和4年3月31日現在

監事	出口 勝	君津市建設部長	非常勤
監事	今井 靖容	公認会計士	非常勤

任期：4年（令和2年6月12日から令和6年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【職員の状況】

令和4年3月31日現在 (単位:人)

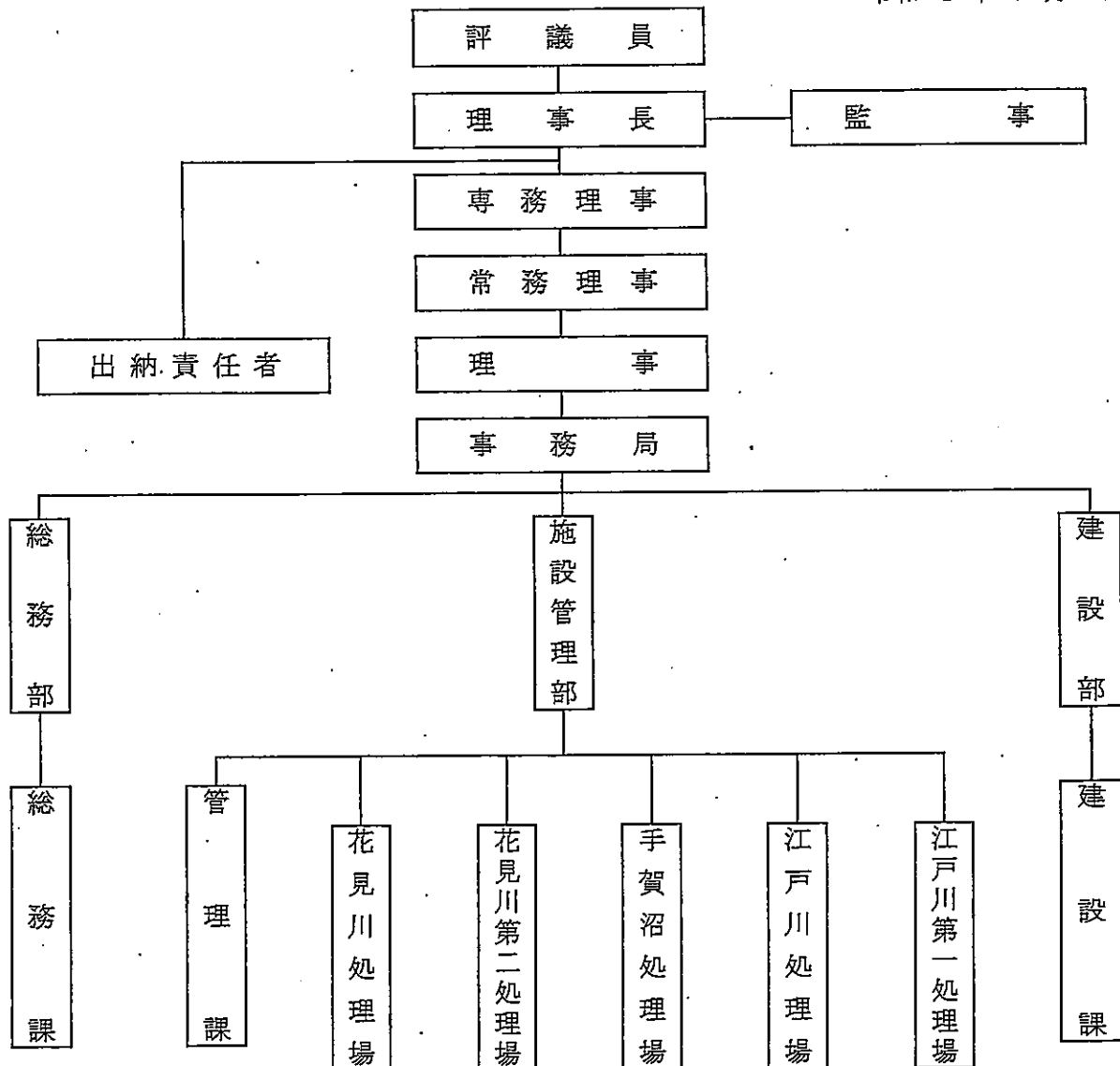
所 属	千葉県からの派遣	プロパー	計
総務部	部長 ※		
	総務課		7
	計	0	7
施設管理部	部長		1
	管理課		3
	花見川処理場		7
	花見川第二処理場		4
	手賀沼処理場		5
	江戸川処理場		7
	江戸川第一処理場		4
計	0	31	31
建設部	部長		1
	建設課		9
	計	0	10
合計	0	48	48

※ 専務理事兼務

プロパー職員数に嘱託職員(5人)を含む。

【組織図】

令和4年3月31日現在



決算報告書

(財務諸表)

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,156,846,483	1,458,721,560	698,124,923
未収金	365,660,444	531,626,710	△ 165,966,266
前払金	198,767	202,932	△ 4,165
貯蔵品	85,624,676	0	85,624,676
未成工事支出金	832,285,754	921,475,972	△ 89,190,218
流動資産合計	3,440,616,124	2,912,027,174	528,588,950
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	7,005,781	7,010,754	△ 4,973
基本財産投資有価証券	359,994,219	359,989,246	4,973
基本財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	317,900,129	327,467,479	△ 9,567,350
調査研究事業積立資産	12,105,000	12,105,000	0
普及啓発事業積立資産	322,895,000	366,354,000	△ 43,459,000
啓発施設積立資産	263,262,719	264,154,719	△ 892,000
災害支援積立資産	40,000,000	40,000,000	0
研修支援積立資産	6,700,000	7,803,000	△ 1,103,000
特定資産合計	962,862,848	1,017,884,198	△ 55,021,350
(3) その他固定資産			
工具器具備品	946,300	946,300	0
工具器具備品減価償却累計額	△ 946,298	△ 946,298	0
電話加入権	859,200	859,200	0
その他固定資産合計	859,202	859,202	0
固定資産合計	1,330,722,050	1,385,743,400	△ 55,021,350
資産合計	4,771,338,174	4,297,770,574	473,567,600
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,802,564,395	1,269,078,442	533,485,953
前受金	835,000,000	919,250,000	△ 84,250,000
預り金	441,828,700	396,498,053	45,330,647
賞与引当金	28,440,475	28,324,651	115,824
流動負債合計	3,107,833,570	2,613,151,146	494,682,424
2. 固定負債			
退職給付引当金	317,900,129	327,467,479	△ 9,567,350
固定負債合計	317,900,129	327,467,479	△ 9,567,350
負債合計	3,425,733,699	2,940,618,625	485,115,074
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(367,000,000)	(367,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	978,604,475	990,151,949	△ 11,547,474
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(644,962,719)	(690,416,719)	△ 45,454,000
正味財産合計	1,345,604,475	1,357,151,949	△ 11,547,474
負債及び正味財産合計	4,771,338,174	4,297,770,574	473,567,600

正味財産増減計算書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

(1)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,530,177	2,070,843	△ 540,666
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	199	603	△ 404
③ 事業収益			
下水道知識普及啓発事業収益	729,000	765,000	△ 36,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	70,995,349	67,775,943	3,219,406
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	56,295,458	53,437,733	2,857,725
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	53,643,827	70,544,871	△ 16,901,044
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,257,422,771	2,454,427,448	△ 197,004,677
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	405,684,928	141,840,408	263,844,520
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,608,243	3,724,813	△ 116,570
下水処理水再利用管理受託事業収益	80,470,960	95,539,719	△ 15,068,759
花見川処理水再利用事業収益	90,722,911	105,288,597	△ 14,565,686
公共下水道設計業務受託事業収益	181,963,642	214,060,614	△ 32,096,972
公共下水道設計積算業務受託事業収益	6,727,273	5,800,000	927,273
公共下水道建設工事受託事業収益	2,402,577,784	1,069,405,401	1,333,172,383
公共下水道施工監理受託事業収益	8,236,364	9,681,819	△ 1,445,455
事業収益計	5,619,078,510	4,292,292,366	1,326,786,144
④ 雑収益			
受取利息	398	1,206	△ 808
雑収益	30,366	1,806	28,560
雑収益計	30,764	3,012	27,752
経常収益計	5,620,639,650	4,294,366,824	1,326,272,826
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	21,030,589	21,149,510	△ 118,921
報酬	1,420,749	1,455,954	△ 35,205

(2)

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
給料	171,807,374	185,542,644	△ 13,735,270
諸手当	97,301,528	102,757,523	△ 5,455,995
法定福利費	49,770,307	53,747,692	△ 3,977,385
退職給付費用	22,598,428	25,253,517	△ 2,655,089
賃金	4,925,890	4,224,748	701,142
旅費	976,236	1,012,400	△ 36,164
厚生費	1,832,517	1,885,843	△ 53,326
会議費	119,948	108,593	11,355
消耗品費	613,785,152	684,377,811	△ 70,592,659
燃料費	3,435,760	1,806,711	1,629,049
印刷製本費	3,333,359	2,389,650	943,709
光熱水費	172,500	168,100	4,400
通信運搬費	3,823,607	3,545,749	277,858
手数料	657,152	605,279	51,873
賃借料	18,384,715	17,308,918	1,075,797
修繕費	357,122,000	488,101,000	△ 130,979,000
備品費	0	21,778,740	△ 21,778,740
保険料	299,410	257,180	42,230
交際費	1,608	0	1,608
諸税公課費	3,506,333	2,934,421	571,912
広告費	408,530	409,529	△ 999
諸謝金	277,730	222,755	54,975
支払負担金	4,329,638	3,103,131	1,226,507
委託料	1,812,120,129	1,562,302,767	249,817,362
工事費	2,299,427,395	1,017,629,448	1,281,797,947
施設管理費	90,722,911	105,288,597	△ 14,565,686
支払寄付金	24,118	24,340	△ 222
賞与引当金繰入額	27,682,865	27,617,290	65,575
雑費	72,761	80,353	△ 7,592
事業費計	5,611,371,239	4,337,090,193	1,274,281,046
②管理費			
役員報酬	5,129,411	4,918,490	210,921
報酬	346,524	338,593	7,931
給料	4,479,352	4,561,222	△ 81,870
諸手当	3,442,603	3,306,889	135,714
法定福利費	2,297,721	2,320,171	△ 22,450
退職給付費用	478,106	585,326	△ 107,220
賃金	404,882	384,452	20,430

(3)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費	58,907	49,696	9,211
厚生費	432,606	431,242	1,364
会議費	29,255	25,254	4,001
消耗品費	860,956	902,741	△ 41,785
燃料費	13,161	11,592	1,569
印刷製本費	19,941	18,830	1,111
通信運搬費	218,881	207,381	11,500
手数料	72,484	57,637	14,847
賃借料	1,059,789	1,052,492	7,297
修繕費	0	0	0
備品費	0	0	0
交際費	392	0	392
諸税公課費	1,764	4,679	△ 2,915
広告費	26,470	25,471	999
諸謝金	67,738	51,803	15,935
支払負担金	360,732	355,277	5,455
委託料	242,305	384,007	△ 141,702
支払寄付金	5,882	5,660	222
賞与引当金繰入額	757,610	707,361	50,249
雑費	8,413	9,461	△ 1,048
管理費計	20,815,885	20,715,727	100,158
経常費用計	5,632,187,124	4,357,805,920	1,274,381,204
当期経常増減額	△ 11,547,474	△ 63,439,096	51,891,622
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,547,474	△ 63,439,096	51,891,622
一般正味財産期首残高	990,151,949	1,053,591,045	△ 63,439,096
一般正味財産期末残高	978,604,475	990,151,949	△ 11,547,474

(4)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,530,177	2,070,843	△ 540,666
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 1,530,177	△ 2,070,843	540,666
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産期末残高	367,000,000	367,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,345,604,475	1,357,151,949	△ 11,547,474

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(1)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,530,177			1,530,177
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	199			199
③ 事業収益				
下水道知識普及啓発事業収益	729,000			729,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	70,995,349			70,995,349
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	56,295,458			56,295,458
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	53,643,827			53,643,827
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,257,422,771			2,257,422,771
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	405,684,928			405,684,928
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,608,243			3,608,243
下水処理水再利用管理受託事業収益	80,470,960			80,470,960
花見川処理水再利用事業収益	90,722,911			90,722,911
公共下水道設計業務受託事業収益	181,963,642			181,963,642
公共下水道設計積算業務受託事業収益	6,727,273			6,727,273
公共下水道建設工事受託事業収益	2,381,761,899	20,815,885		2,402,577,784
公共下水道施工監理受託事業収益	8,236,364			8,236,364
事業収益計	5,598,262,625	20,815,885	0	5,619,078,510
④ 雑収益				
受取利息	398			398
雑収益	30,366			30,366
雑収益計	30,764	0	0	30,764
経常収益計	5,599,823,765	20,815,885	0	5,620,639,650
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	21,030,589			21,030,589
報酬	1,420,749			1,420,749
給料	171,807,374			171,807,374
諸手当	97,301,528			97,301,528

(2)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
法定福利費	49,770,307			49,770,307
退職給付費用	22,598,428			22,598,428
賃金	4,925,890			4,925,890
旅費	976,236			976,236
厚生費	1,832,517			1,832,517
会議費	119,948			119,948
消耗品費	613,785,152			613,785,152
燃料費	3,435,760			3,435,760
印刷製本費	3,333,359			3,333,359
光熱水費	172,500			172,500
通信運搬費	3,823,607			3,823,607
手数料	657,152			657,152
賃借料	18,384,715			18,384,715
修繕費	357,122,000			357,122,000
備品費	0			0
保険料	299,410			299,410
交際費	1,608			1,608
諸税公課費	3,506,333			3,506,333
広告費	408,530			408,530
諸謝金	277,730			277,730
支払負担金	4,329,638			4,329,638
委託料	1,812,120,129			1,812,120,129
工事費	2,299,427,395			2,299,427,395
施設管理費	90,722,911			90,722,911
支払寄付金	24,118			24,118
賞与引当金繰入額	27,682,865			27,682,865
雑費	72,761			72,761
事業費計	5,611,371,239		0	5,611,371,239
②管理費				
役員報酬		5,129,411		5,129,411
報酬		346,524		346,524
給料		4,479,352		4,479,352
諸手当		3,442,603		3,442,603
法定福利費		2,297,721		2,297,721
退職給付費用		478,106		478,106
賃金		404,882		404,882
旅費		58,907		58,907
厚生費		432,606		432,606
会議費		29,255		29,255
消耗品費		860,956		860,956

(3)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
燃料費		13,161		13,161
印刷製本費		19,941		19,941
通信運搬費		218,881		218,881
手数料		72,484		72,484
賃借料		1,059,789		1,059,789
修繕費		0		0
備品費		0		0
交際費		392		392
諸税公課費		1,764		1,764
広告費		26,470		26,470
諸謝金		67,738		67,738
支払負担金		360,732		360,732
委託料		242,305		242,305
支払寄付金		5,882		5,882
賞与引当金繰入額		757,610		757,610
雑費		8,413		8,413
管理費計	0	20,815,885	0	20,815,885
経常費用計	5,611,371,239	20,815,885	0	5,632,187,124
当期経常増減額	△ 11,547,474	0	0	△ 11,547,474
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,547,474	0	0	△ 11,547,474
一般正味財産期首残高	990,151,949	0	0	990,151,949
一般正味財産期末残高	978,604,475	0	0	978,604,475
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,530,177	0		1,530,177
② 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 1,530,177	0		△ 1,530,177
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000		0	367,000,000
指定正味財産期末残高	367,000,000		0	367,000,000
III 正味財産期末残高	1,345,604,475	0	0	1,345,604,475

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法
棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産 . . . 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
ア. 賞与引当金 職員に対する賞与（期末勤勉手当）の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき見積額を計上している。
イ. 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産普通預金	7,010,754		4,973	7,005,781
基本財産投資有価証券	359,989,246	4,973		359,994,219
小 計	367,000,000	4,973	4,973	367,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	327,467,479	20,551,534	30,118,884	317,900,129
調査研究事業積立資産	12,105,000			12,105,000
普及啓発事業積立資産	366,354,000		43,459,000	322,895,000
啓発施設積立資産	264,154,719		892,000	263,262,719
災害支援積立資産	40,000,000			40,000,000
研修支援積立資産	7,803,000		1,103,000	6,700,000
小 計	1,017,884,198	20,551,534	75,572,884	962,862,848
合 計	1,384,884,198	20,556,507	75,577,857	1,329,862,848

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産普通預金	7,005,781	(7,005,781)	—	—
基本財産投資有価証券	359,994,219	(359,994,219)	—	—
小 計	367,000,000	(367,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	317,900,129	—	—	(317,900,129)
調査研究事業積立資産	12,105,000	—	(12,105,000)	—
普及啓発事業積立資産	322,895,000	—	(322,895,000)	—
啓発施設積立資産	263,262,719	—	(263,262,719)	—
災害支援積立資産	40,000,000	—	(40,000,000)	—
研修支援積立資産	6,700,000	—	(6,700,000)	—
小 計	962,862,848	—	(644,962,719)	(317,900,129)
合 計	1,329,862,848	(367,000,000)	(644,962,719)	(317,900,129)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
千葉県公募公債			
平成24年度第9回(10年)	39,998,186	40,292,800	294,614
平成25年度第12回(10年)	39,996,033	40,512,000	515,967
平成26年度第4回(10年)	40,000,000	40,544,000	544,000
平成27年度第4回(10年)	40,000,000	40,776,800	776,800
平成28年度第6回(10年)	40,000,000	40,201,600	201,600
平成30年度第5回(10年)	40,000,000	40,146,800	146,800
令和元年度第5回(10年)	40,000,000	39,744,800	△ 255,200
令和2年度第8回(10年)	40,000,000	39,518,000	△ 482,000
令和3年度第6回(10年)	40,000,000	39,448,400	△ 551,600
合 計	359,994,219	361,185,200	1,190,981

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	1,530,177
合 計	1,530,177

6. その他

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

職員退職手当支給規程に基づく退職一時金制度、中小企業退職金共済制度と閉鎖型確定給付年金制度を採用している。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	399,282,238
②中小企業退職金共済からの支給見込額	81,382,109
③退職給付引当金(①-②)	317,900,129

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 退職給付費用(勤務費用)	23,076,534
----------------	------------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、簡便法を採用しており、退職給付に係わる期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の退職金支給見込額を除いた額を退職給付引当金として計上している。

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	28,324,651	28,440,475	28,324,651	0	28,440,475
退職給付引当金	327,467,479	20,551,534	30,118,884	0	317,900,129

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金預金	普通預金	千葉銀行本店営業部	運転資金として	2,050,109,315	
		千葉興業銀行本店営業部		86,718,607	
		京葉銀行本店営業部		18,561	
		定期預金			
		千葉銀行本店営業部		10,000,000	
		京葉銀行本店営業部		10,000,000	
		未収金		受託市町村等	公益目的事業に係る受託収益等
前払金	労働保険料	令和3年度分	198,767		
貯蔵品		薬品及びろ布他の年度末在庫	85,624,676		
未成工事支出金		繰越工事の支出済工事費	832,285,754		
流動資産合計				3,440,616,124	
(固定資産)					
基本財産	現金預金	普通預金	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源とする。	7,005,781	
	投資有価証券	千葉銀行本店営業部 千葉県公募公債(10年) 9口		(基本財産計)	359,994,219
特定資産	退職給付引当資産	普通預金	引当見合の引当資産として管理している。	367,000,000	
		千葉興業銀行本店営業部		307,900,129	
	定期預金	千葉興業銀行本店営業部	10,000,000		
	調査研究事業積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	12,105,000	
	普及啓発事業積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	322,895,000	
	啓発施設積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	263,262,719	
	災害支援積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	40,000,000	
その他固定資産	研修参加支援積立資産	普通預金	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	6,700,000	
	工具器具備品	金属名板他 (工具器具備品減価償却累計額)	公益目的事業のため財産として保有している	946,300 △ 946,298	
	電話加入権		公益目的事業で使用するため保有している	859,200	
固定資産合計				1,330,722,050	
資産合計				4,771,338,174	
(流動負債)					
未払金	業者に対する未払金他	未成工事費 市川市他	公益目的事業に係る未払金他	1,802,564,395	
				公益目的事業に係る前受収益	835,000,000
				公益目的事業の精算残金他	441,828,700
				職員賞与当年度負担見込額	28,440,475
前受金					
預り金					
賞与引当金					
流動負債合計				3,107,833,570	
(固定負債)					
退職給付引当金	職員に対する退職債務			317,900,129	
固定負債合計				317,900,129	
負債合計				3,425,733,699	
正味財産				1,345,604,475	